



ロータリーの風

国際ロータリー第 2570 地区 第 4 グループ
皆野・長瀬ロータリークラブ

平成 24 年 3 月 8 日

第 3 号

富山県氷見の旅

まず寿司ミュージアム・瑞龍寺他

平成 24 年 2 月 5 日 (日) ~ 6 日 (月)、クラブ会員と家族 11 名で冬の富山県氷見方面へ一泊二日の親睦バス旅行に行つて来ました。行き先は、富山まず寿司ミュージアム源、国宝瑞龍寺、氷見フィッシャーマンズリーフ、魚津の尾崎かまぼこ館、料亭浜多屋など。

今回の旅は、萩原繁会員からの提案でした。「富山県氷見の寒ブリは美味しいと有名だ。是非現地で食べよう。」と。新年会直後で難しい時期ですが、「寒ブリが最高の時期に行きたい。」とのことから、この日程が決まりました。

初日は先ず、まず寿司ミュージアム源で昼食。次に高岡山瑞龍寺に行きました。この寺は、加賀藩二代藩主前田利長公の菩提寺。三代藩主利常公により建立された寺です。平成 9 年 12 月 3 日、山門、仏殿、法堂が国宝に指定されたとのこと。雪に覆われた大きな建物が荘厳でした。



午後 4 時頃にホテルに到着、温泉に入った後、いよいよ期待の夕食。しかし寒ブリは天候不良で入手できなかったとのことで、メイン料理が氷見牛のしゃぶしゃぶに代わってしまいました。この時期は、

寒ブリが入手できないこともままあるらしい。

寒ブリは空振りでしたが、美味しい料理、飲み物、カラオケ競演で楽しい宴会となりました。

翌朝は、ホテル名物のハマチ解体の実演を見ながら朝食をとりました。



二日目は、先ずホテルからほど近い魚市場に寄り、新鮮な魚介類をお土産に買い込みました。次に、魚津のかまぼこ工場に寄り、かまぼこ製造工程を見学、買い物をしました。魚津の老舗料亭での昼食は、美味しい料理で、みんなが満足の様子でした。

今年は強い寒気が日本中を襲い、北陸地方は前の週まで大雪に見舞われていました。しかし、旅行中は奇跡的に良い天候に恵まれました。これは会員の心掛けの良さを証明するかのようです。

蠟梅（ロウバイ）例会を開催 皆野・長瀨 RC と秩父 RC の合同例会

平成24年2月23日（木）、有隣倶楽部（長瀨町）において、皆野・長瀨ロータリークラブと秩父ロータリークラブとの合同例会（蠟梅例会）を開催しました。蠟梅例会は、寒い冬に真っ先に花を咲かせる蠟梅にあやかり、当クラブが主催で毎年この時期に開催している、家族参加の例会です。

今年も地元のバンドに出演してもらい、生演奏に合わせて、各自自慢の声を披露しました。今年は、特に家族の皆様にも大いに楽しんでいただけたようでした。美味しい料理と美味しいお酒を飲食しながらの楽しい3時間があっという間でした。

最後に、次期の会長・幹事予定者の音頭で締めを行い、今後の更なる親睦を約束しあいました。



ロータリーとは

ロータリーは人道的奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的基準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した実業人および専門職業人が世界的に結びあった団体です。

ロータリーの綱領（目的）

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。



国際ロータリー第2570地区 第4グループ

皆野・長瀨ロータリークラブ

〒369-1305 秩父郡長瀨町長瀨 1446 養浩亭内

例会日：毎木曜日 12:30～13:30

例会場：長瀨レクリエーションホテル養浩亭

Tel&Fax:0494-66-4134

E-Mail:minanaga@chichibu.ne.jp

区域限界：皆野町、長瀨町、秩父市吉田・黒谷・太田